



ぶら研 「すんくじら」

令和6年度 志和池小 校長室から ぶらっと研修 18 11月25日 文責 田爪



前向きに次に生かす反省

修学旅行でのこと。

1日目の班別自主研修を終えての集合に、1班だけ18分も遅れて帰ってきました。

指導後、子どもたちは「遅れてすみません。」と謝りながらバスに乗りました。

さて、このような場合、よくやりがちな指導として、「みんなの前で謝らせる」ということがあります。しかし、担任はグループへの指導はもちろんでしたが、「みんなの前での謝罪」はさせていません。

「みんなの前で謝らせる」のは、子どもたちをさらし者にしてしまうことにもなりかねません。それよりも、子どもたちが自ら謝りながらバスに乗り込み、全体的に気持ちを切り替え、次の目的地に進むことができたのは、とてもよいシーンに思えました。

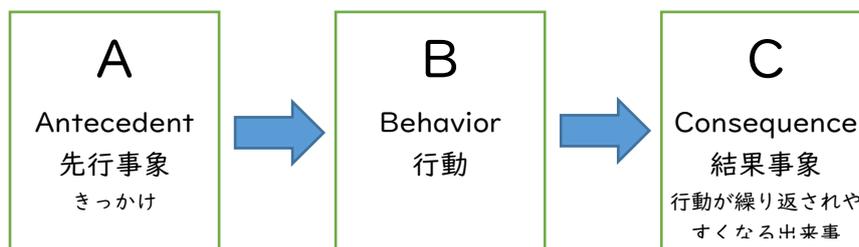
これもポジティブ行動支援の一つだと思います。

失敗を学びとして生かせたのだらうと思います。

11月参観・懇談感想から

- ・志和池小の子どもたちのやさしさやあかるさ等の話ができて、あたたかい雰囲気が進められた。
- ・児童の学びの様子を伝えることができた。
- ・保護者から、子ども同士の授業中の交流を見ることができてよかったと御意見をいただいた。
- ・保護者の前で、子どもたちを褒めることができ、うれしそうな表情が見られた。
- ・「普段から(長い文章を)読むことをたくさんさせていきたい。」ということに納得されていた。

ポジティブ行動支援における行動のABCフレーム



子どものポジティブな行動を引き出すためには、子どもの行動の先行事象となる指示や指導を的確かつ具体的に行うことが重要。

- ・教師の的確かつ具体的な指示
- ・ポジティブな行動を視覚的に示す掲示物
- ・仲間のポジティブな言葉かけ